

10/1 働くことに喜びと生きがい  
就労継続支援事業B型「ヨハネファクトリー」が開所



児童発達支援事業を運営するカサヨハネ株式会社が、特別支援学校高等部などを卒業した子どもたちの働く場として、旧長崎保育所でヨハネファクトリー（就労継続支援事業B型）を開所し、内覧会を行いました。

ヨハネファクトリーでは、『自分の才能を発見し、磨いてみませんか?』という言葉掲げ、利用者が仕事に集中できるための精神力や体力を育成するプログラムを展開しながら、陶芸・木工細工などの屋内作業、農業・花栽培などの屋外軽作業、ジャムなどの製造作業、地域の事業所からの委託事業などさまざまな作業に取り組んでいきます。

また、利用者が個々の能力や特性にあった仕事に就き、働くことに喜びや生きがいを見出して家族と一緒に安心して暮らしていける地域づくりを目指しています。

念願の就労継続支援事業B型の開所にあたり、岡澤<sup>ともこ</sup>朋子施設長は、「学校やカサヨハネを卒業した子どもたちが安心できる居場所であることや楽しい職場であることはもちろん、カフェや子ども食堂の場として利用してもらうことで地域貢献にもつながると思う。その中で利用者たちができることをお手伝いしていけたらと考えている」と話しました。

地域おこし協力隊 活動日記

「愛南は今日もキッチンカー日和」

こんにちは。商工観光課地域おこし協力隊の関根です。

今回はキッチンカーについてです。

愛南町の食の魅力発信プロジェクトや特産品PR・開発の一環として、8月4日～17日までの2週間キッチンカーを借りて町内でスパイスカレーとドリンク販売を行いました。

平日は役場や学校、週末はイベントや山出温泉で販売し合計350食と去年から作り続けているカレーをより多くの人に食べて貰うことができました。ありがとうございました。

高茂岬でのドリンク販売はお盆時期かつ、自動販売機が無いこともあり好調で、バイカーや観光客などたくさんの人たちが景色を見に訪れていたことに驚きました。ドリンク提供する際に高茂岬に来たきっかけや感想など観光について会話することもできました。

初めての挑戦はあっという間で、やってみないと分からないことばかりでした。仕込みに関して



はすべて一人で準備しなければならないというプレッシャーがある一方、いろんな人が応援や盛り付け、販売の協力をしてくれたことで無事に乗り切ることができました。どこに行けばカレーが食べられるのかという質問をいただくこともあったので、次回のキッチンカー販売ではもう少し町内のいろんな場所を回れるようにしっかり準備と告知をしていきたいです。

愛南町や地域おこし協力隊の活動を知ってもらうために日々SNSで発信をしています。それがきっかけでテレビの密着取材へとつながりました。YouTubeで見られるのでぜひご覧ください。



YouTube